

## △オルベスコ インヘラー [外]

【重要度】 【一般製剤名】 シクレソニド Ciclesonide 【分類】 吸入ステロイド剤

【単位】 ▼50 $\mu$ g [112吸入用]・▼100 $\mu$ g [112吸入用]・△200 $\mu$ g/puff [56吸入用]

【常用量】 100～400 $\mu$ g/日 [最大800 $\mu$ g]

【用法】 1日1回 [夜の吸入が望ましい] 800 $\mu$ g/日吸入の場合は、1日2回朝・夕

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 肺上皮細胞でカルボキシエステラーゼにより加水分解され活性体の des-CIC に変換されて活性体になる。des-CIC はさらに脂肪酸と結合し、脂肪酸抱合体を形成して肺組織内に滞留し、徐々にフリー体へ遊離することにより効果が持続する (1) エステラーゼ活性の低い部位では活性体に変換されないため、口腔内カンジダなどの発生率が低く、必ずしも吸入後のうがいが必要としない (1)

【主な副作用・毒性】 過敏症、口腔・咽喉頭症状 (カンジダ症、味覚異常、嚔声など)、気管支痙攣、胸痛など

【F】 経口：脱イソブチリル体として1%未満 (1) 吸入時、活性体として50% (1)

【代謝】 エステラーゼによる代謝を受けて活性代謝物である脱イソブチリル体に変換される (1) 脱イソブチリル体は主として CYP3A4 で代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 20% [iv, 216hr まで] (1) 66%が糞中排泄 (1) 【CL】 3L/hr/kg (1)

【t<sub>1/2</sub>] 脱イソブチリル体として2～3hr (1)

【蛋白結合率】 シクレソニド：98.9～99.4%、脱イソブチリル体：98.1～98.8% (1)

【Vd】 12L/kg (1)

【MW】 540.69

【透析性】 データなし (1) 蛋白結合率が高く、吸収されたとしても透析で除去されないと思われる (5)

【O/W 係数】 LogP=5.1 [1-オクタノール/リン酸 buffer, pH7.4] (1)

【主な臨床報告】 COVID-19 における症状緩和への有益性認めず (Clemency BM, et al: JAMA Intern Med 2021 PMID: 34807241)

【更新日】 20211202

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。